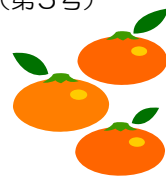


# わかやま3・3より情報



〒640-8034 和歌山市駿河町35番地 和歌山県身体障害者総合福祉会館4F

TEL 073-421-6311 FAX 073-421-6411

ホームページ <http://www.kisweb.ne.jp/wakayama-tyoukaku/>



## 迎春



所長 中西 靖史

新年明けまして、おめでとうございます。

皆様方には、お健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年はまさに「命」の尊さを痛感させられた年でありました。「絶たれた命」「奪われた命」「命の不安」反面「生まれた命」もありました。今年は「命」が本当に大切にされる年であってほしいものです。

さて、障害者自立支援法が成立し、昨年10月から全面的に施行されました。この中で、地域の実情に応じて総合的に実施する事業として地域生活支援事業が位置づけられ、とりわけ当センターに関係するものでは、手話通訳者、要約筆記者派遣事業また手話通訳者設置事業がコミュニケーション支援事業として、市町村において実施されることとなりました。

これらの派遣事業等については、県下市町村において、県の指導のもと、ガイドラインに沿って実施されているところですが、当センターに業務委託をいただいている市町村もあり、そうした地域にあつては、手話通訳者等派遣事業は、引き続き当センターで実施することとなりますので、今後ともよろしくお願ひします。

また、手話奉仕員、要約筆記奉仕員養成・研修事業につきましては、これまでと同様に県からの委託を受け、当センターにおいて、より幅広く実施していく予定です。

当センターも設立されて7年目になります。これからも、聴覚障害者の皆様の情報センターとして、広くご意見やご希望をお聞きしながら、充実・発展させて参りたいと存じますので、今年も、なお一層のご指導、ご協力を、よろしくお願ひします。



## 要約筆記者・手話通訳者の派遣申請は お住まいの市町村が窓口です！



障害者自立支援法施行により、昨年10月から要約筆記者・手話通訳者の派遣事業は県から市町村へ移行しました。それに伴い、お住まいの市町村が派遣窓口となります。

半数近くの市町村が独自で実施していますが、その他の市町村は、情報センターと委託契約を結び、受付窓口は市町村で、派遣の調整は情報センターで行います。

## 和歌山県消費生活センターからのお知らせ

インターネット関連のトラブルが広がっています。くれぐれもご注意を！

皆さん、生活に必要な情報はどうやって入手していますか？

聴覚障害者情報センターからの情報の他、新聞・雑誌、家族・友人からの口コミ情報など様々だと思いますが、近年、インターネットから情報を入手している人が増えています。

インターネットは、自宅にいながらにして色々な情報を入手することができ、非常に便利なものですが、使い方を誤るとトラブルに巻き込まれてしまいます。

トラブルに巻き込まれないためには

- ・危険なサイトを開かない、知らない人からのメールは開かない。
- ・コンピュータウイルス対策ソフトを導入する。
- ・個人情報公開しない。（特にID、パスワード、クレジットカードの情報）

インターネット情報は信頼できるものと悪質な情報（ウソの情報、他人を引っかけるための情報）が混在しています。ネット上であふれる情報は、そのまま鵜呑みにするのではなく、真偽の見極めと情報の取捨選択が一番大事なのです。

次に、消費生活センターに寄せられた相談を紹介します。

### 相談事例

インターネットサービスの会員を広めることで、マーキングが入り儲かるなどと勧誘を受けた。インターネットなんか興味がないと断ったが、人を紹介するだけで収入になるからと勧められた。仕組みも理解できないし、当初聞いていた話のように儲かるわけでもないのので解約したい。



### アドバイス

典型的なマルチ商法の相談です。ほとんどの人は損をするうえ人間関係を壊す元にもなりかねないので安易な契約はやめた方がいいでしょう。マルチ商法は法律で厳しい規制が課せられており、契約してから20日以内ならば無条件解約（クーリング・オフ）ができます。また、90日未満であれば未使用商品の返品ができる場合もあります。詳細については、県消費生活センターにご相談下さい。（相談は無料  
平日：午前9時から午後5時まで）

#### 和歌山県消費生活センター

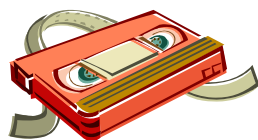
T 640-8227  
和歌山市西汀丁26 県経済センター2階  
☎ (073) 433-1551  
FAX (073) 433-3904



#### 和歌山県消費生活センター紀南支所

T 646-0027  
田辺市朝日ヶ丘23番1号 泉西牟婁総合庁舎内  
☎ (0739) 24-0999  
FAX (0739) 26-7943





# おすすめビデオ

9月に入荷しましたビデオを一部ご紹介します。

★DA2006-001 ろうを生きる 難聴を生きる 戦後60年手話で語る東京大空襲

**内容** 昭和20年3月10日未明、東京の下町を襲ったアメリカの爆撃機B29は、大量の焼夷弾を投下し、町を火の海にした。当時北区に住んでいた細山芳子さんも、この東京大空襲を体験した1人だ。空襲当日の生々しい体験を伺う。

★DA2006-006 日本聴導犬協会 紹介ビデオ

**内容** 聴覚障害者の耳の代わりとなって生活を助ける聴導犬。そして身体に障害のある人の生活を助ける介助犬について紹介する。聴導犬はどんな仕事を行うのか。どんな犬が聴導犬に向いているのか。どんな訓練を受けて聴導犬になっていくのか。日本聴導犬協会では、聴導犬の訓練と認定の両方を行っており、認定試験の様子も紹介される。

★EB2006-001~005 わかる国語 読み書きのツボ3・4年

○ですますでございませす ○青いのはどっち？

○どきどきすることは ○のようなもの ○反対はどれ？

**内容** 小学校3・4年の国語を5つの内容に分けて勉強する。

★FB2006-001~010 いま、会いにゆきます

★FC2006-004 「涙そうそう」プロジェクトドラマ特別企画 広島昭和20年8月6日

**内容** 広島の産業奨励館（現在の原爆ドーム）の近くに住む三姉妹と弟を中心に、原爆が投下されるまでの3週間を描く。長女は家業の旅館で、次女は代用教員、三女は学徒動員と、それぞれ懸命に働いていた。15歳の弟は姉たちに希望という花言葉を残して出征する。苦しい戦時下であっても、恋に友情に精一杯の暮らしを送っていた三姉妹。そしてついに運命の日がやってくる。

★FD2006-004 劇場版 仮面ライダーヒビキと7人の戦鬼

★FG2006-001 金田一少年の事件簿 吸血鬼伝説殺人事件

★FG2006-002 西村京太郎サスペンス 十津川警部シリーズ34  
ブルートレイン寝台特急「あさかぜ」殺人事件

★JB2006-003 ブラックジャック Karte:08 奇跡の腕

★VA2006-001 世界一受けたい授業 1時限目経済 山田真哉「さおだけ屋はなぜ潰れないのか？」2時限目生物 栗林慧 昆虫の世界 3時限目医学 南洲明宏 患者力

**内容** 1時限目は「さおだけ屋はなぜ潰れないのか？」の著者で公認会計士の山田真哉氏が、商売のもうけのからくりを分かりやすく説明してくれる。2時限目は、世界最小の手作りカメラで昆虫の写真を撮影している昆虫写真家の栗林慧氏が、虫の世界のすばらしさを紹介する。3時限目は「患者力」の著者で心臓外科医の南洲明宏氏が、病気の取り組む患者の姿勢について授業する。

★VA2006-003 民話の田舎にご宿泊 田舎に泊まろう！3時間スペシャル

★VA2006-005 発掘！あるある大事典Ⅱ わずか3分でOK！肩こりタイプ別解消法

★VA2006-006 発掘！あるある大事典Ⅱ 話し方で脳が若返る！



## ビデオライブラリー貸出状況（18年6月～12月）

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
貸出人数	48	32	57	38	42	44	8	269
貸出本数	20	8	20	15	17	14	14	108

### 平成18年度要約筆記奉仕員養成講座 基礎課程修了



本年度から始まったパソコンコースと手書きコースに分かれて講座を実施し、昨年12月全11回の基礎課程を修了しました。パソコンコース10人中8人、手書きコース18人中10人の方に修了書が授与されました。なお、修了者を対象にした応用課程が1/16から始まり、全7回実施します。

### 平成18年度手話奉仕員養成講座 入門・基礎課程修了



かつらぎ町(入門)と海南市(基礎)で実施していました標記講座が、昨年11月修了しました。各10回実施し、入門課程44人中32人、基礎課程40人中29人の方に修了書が授与されました。



## センター行事（1月～3月）



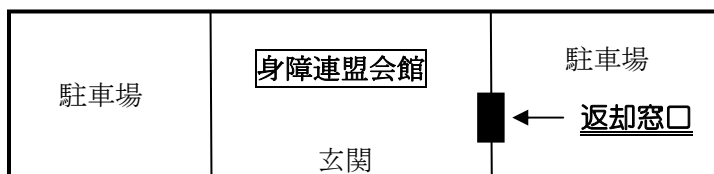
—1月—	
1/7	通訳者養成
1/14	通訳者養成 IT講習中級③（ろう）
1/15	文化教室（食事方法）
1/20	IT講習中級④（難聴）
1/21	IT講習中級④（ろう） センター日曜開館日
1/22	文化教室（七宝焼）
1/28	通訳養成

—2月—	
2/3	IT講習ステップ①（難聴）
2/4	IT講習ステップ①（ろう）
2/5	センター開館時間延長日
2/17	IT講習ステップ②（ろう）
2/18	IT講習ステップ②（難聴） センター日曜開館日
—3月—	
3/4	通訳者養成
3/5	センター開館時間延長日
3/11	通訳者養成

## ビデオライブラリーからのお知らせ

～センター閉館時のビデオライブラリーの返却窓口を始めました！～

センター開館時間以外の日もビデオを返却できるようにしてほしいとの要望を受けて、会館自体が閉まっても下記の場所からビデオを返却できるようになりました。郵便使用窓口ですので、ビデオ2本をいっぺんに入れることができません。1本ずつ分けて入れてください。



お願い！！  
ビデオテープは必ず  
巻き戻してから  
返却してください！

